

07/17・米ロ接近 不安増す世界 首脳会談（ヘルシンキ16日）関係改善を演出 < 1 >

- トランプ流、ロシア利す 大統領選へのロシア介入否定 シリア安定へ協調
- ・中国、親EU鮮明 首脳会議（ブリュッセル16日）WTO改革で一致
- ・中国6.7%成長に減速（4-6月）インフラ投資落ち込む

07/18・日欧EPA来年発効へ 両首脳署名 最大級の自由貿易圏

- 米なきFTA加速 保護主義の対抗軸に
- ・ロシア介入一転認める トランプ氏、批判受け 中間選挙へ世論配慮

07/19・米利上げ独走強まる FRB議長証言「2~3年好況持続」減税効果挙げる

- ・上期の輸出40兆円超 10年ぶり アジア・中国向け最高 < 2 >

07/20・米車関税、身内も異論 「雇用、大きな損害」ビッグ3、コスト増警戒

- 対中関税、消費を直撃 第3弾23兆円分に10% 家具・家電目立つ
- ・人民元「防衛ライン」緊迫 1ドル=6.7元 1年ぶり安値水準
- ・トランプ氏、利上げに不満 ドル高「不利になる」 中銀政策に異例の言及
「禁じ手」意に介せず 危うい独断 対中制裁関税「全輸入品」再び言及

07/21・円大幅上昇111円台（NY市場20日）トランプ氏、ドル高けん制 < 3 >

- ・トランプ氏、プーチン氏訪米要請 外交失点に焦り
- ・北朝鮮、マイナス成長 韓国中銀推定昨年実質GDP 制裁直撃3.5%減

07/22・「米国買い・中国売り」鮮明 株・為替「米が有利」見方優勢 < 4 >

07/23・G20、米へ批判噴出 貿易戦争、通貨摩擦に発展懸念 < 5 >

- 「成長下振れリスク増大」共同声明 利上げで新興国資本流出加速
- ・日銀金融緩和の修正警戒 長期金利が急上昇 5ヶ月半ぶり高水準

07/24・2040年1.5度上昇 進む温暖化 猛暑や豪雨多発 < 6 >

IPCC（国連気候変動政府間パネル）予測 温暖化ガス「実質ゼロ」訴え

07/25・人材開国へ政策総動員 単純労働解禁 外国人就労、転換点に

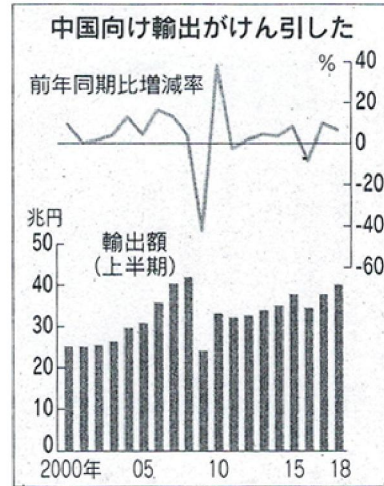
- 介護人材1万人受け入れ 20年目標 ベトナムと合意 インドネシアにも打診
出入国管理局、「庁」に昇格へ
- ・中国、景気刺激策鮮明に 人民銀が大量供給 財政出動も拡大
金融リスク先送り懸念 人民元1年ぶり安値
- ・米、農家救済に1.3兆円 穀物や豚肉 報復関税の影響受け

<1>

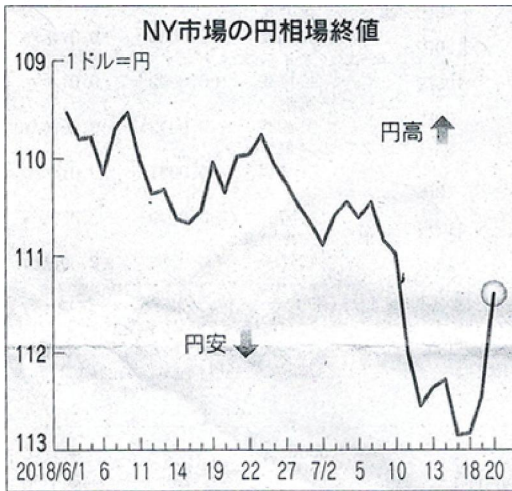
米ロ首脳会談のポイント

- 関係改善で一致
- シリア和平や人道問題の解決へ協力
- 核軍縮で連携を確認
- ロシアは米選挙への介入を否定。トランプ氏はロシアとの共謀否定
- イランの核開発抑止の必要性で一致
- エネルギー価格の高騰に備えて協力も

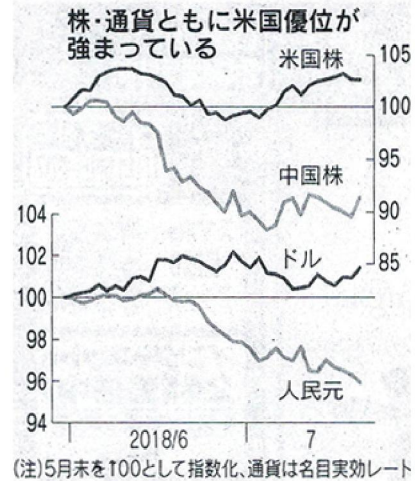
<2>



<3>



<4>



<5>

G20共同声明の骨子

- 世界経済の成長は引き続き強固だが、貿易摩擦の激化などで下方リスクは増大
- リスクを緩和して信頼を高めるための対話や行動を強化
- 新興国は市場の過度の変動や資本フローの反転に直面。継続的な監視を進める
- 輸出を有利にする通貨安競争の回避を示した3月の合意を再確認
- 国際的な課税逃れ対策に向け、非協力的な国・地域の基準強化を支持

<6>

気温が1.5度上昇したときに予想される影響

気象

- 大気中の水蒸気量が増え、1回に降る雨の量が10%以上増える
- 気温が5度以上高くなる地域も出る

海洋

- 海の酸性化が進む
- 潮位が極端に高くなる

健康

- 生物を媒介した感染症が拡大する
- 食料や水の確保に影響が出る

(注) IPCC資料などから作成